

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報
京都府中小企業団体中央会

令和7年 北部地域新年懇談会を開催	1
特集Ⅰ 京都府の労働事情②	2~3
中央会News 京都ビジネス交流フェア2025に出展	4
中央会70周年事業のご案内	4
京都伝統工芸協議会 代表者会議・新年講演会・懇親会を開催	5
京都府中小企業女性中央会 セミナー&MOCOカフェを開催	5
京都府中小企業組合士協会 創立40周年記念講演会・祝賀会を開催	5
特集Ⅱ 組合事務のポイント 総会前後の事務手続きについて	6
京都経済お天気	7
新加入会員紹介	8
春の全国交通安全運動	8

令和7年 北部地域新年懇談会を開催

令和7年1月29日(水)、令和7年 北部地域組合新年懇談会が、京丹後市のKISSUIEN Stay&Foodにおいて開催され、会員及び関係機関からの来賓出席者を含め、のべ88名が参加した。令和2年以来の開催となった。

田茂井勇人副会長の開会挨拶の後、第一部の新春講演会では、株式会社成岡マネジメントオフィス 代表取締役成岡秀夫氏を講師にお招きし、「人手不足の時代にどう対応するか ~従来の常識から脱皮し、新しい発想で~」と題した講演会を開催した。今後とも人手不足が解消することはないという前提の下、どのような対応をとるべきかについて、具体的な事例を交えて紹介いただいた。

第二部の交流懇親会では、安藤源行会長の開宴の挨拶のあと、ご来賓を代表して京都府より武田一寧副知事、続いて京丹後市 中山泰市長から祝辞を頂戴した。そして、京丹後市商工会 行待佳平会長の御発声により乾杯、終始和やかな雰囲気の中で歓談交流が行われ、本会 尾崎至弘理事より中締め挨拶が行われ、盛会裏に閉会した。



田茂井副会長 (主催者挨拶)



成岡講師



安藤会長 (開宴挨拶)



武田京都府副知事 (ご祝辞)



中山京丹後市長 (ご祝辞)



行待京丹後市商工会長 (乾杯)



尾崎理事 (閉宴挨拶)



～令和6年度 中小企業労働事情実態調査報告書 要約版～

本会では、京都府内の中小企業の経営状況等を的確に把握するため、中小企業の抱える課題を様々な視座から分析し、各事業主・事業所の個性がいかに発揮される環境整備に資するため、昭和39年より「中小企業労働事情調査」を実施しています。

2025年2月号では「令和6年度 中小企業労働事情実態調査報告書」より、「従業員数」「従業員の労働時間」「原材料費、人件費（賃金等）アップ等に対する販売価格への転嫁の状況」についてご紹介しました。今回は、「新規学卒者の採用について」「人材の確保と定着について」についてご紹介します。

※調査対象事業所数1,300件、回収数358件、回収率27.5%

※令和6年7月1日時点の状況を調査しました。

1.新規学卒者の採用について

(1) 令和6年度における新規学卒者の採用計画の有無

令和6年度に新規学卒者の採用計画を行い、実際に採用した事業所割合は、京都府計で10.9%と全国平均(15.1%)を4.2ポイント下回った。

新卒採用を行った事業所割合を産業別にみると、製造業で12.2%、非製造業で8.9%と3.3ポイントの差がみられる。具体的な業種でみると、「印刷・同関連業」が20.0%と最も高いスコアとなっており、「金属・同製品製造業」が16.3%、「食品製造業」が16.0%と続く。規模別にみると、大規模事業所ほど新卒採用を行った割合が高く、「1～9人」の事業所では1.8%であるのに対し、「100～300人」の事業所では60.0%と、規模別で大きな差が見られた。

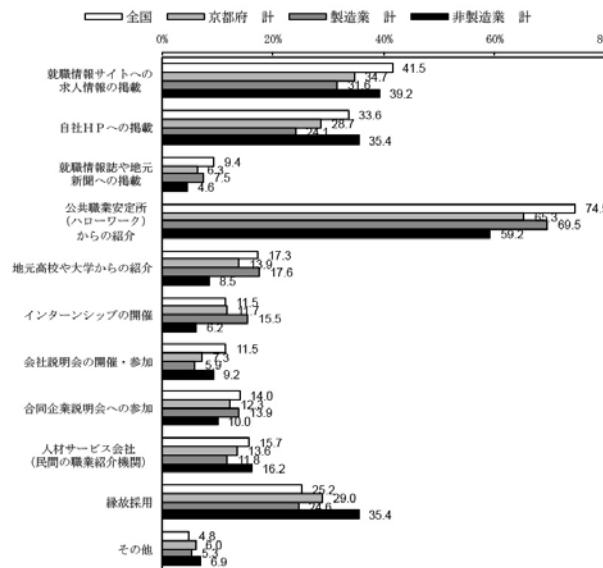
2.人材の確保と定着について

(1) 人材確保のために利用する募集・採用ルート（産業別）（複数回答）

人材確保のために利用する募集・採用ルートについてみると、京都府計では「公共職業安定所（ハローワーク）からの紹介」が65.3%で最も高く、「就職情報サイトへの求人情報の掲載」(34.7%)、「縁故採用」(29.0%)と続いている。

産業別では、製造業、非製造業ともに「公共職業安定所（ハローワーク）からの紹介」が製造業（69.5%）、非製造業（59.2%）と最も高く、「就職情報サイトへの求人情報の掲載」製造業（31.6%）、非製造業（39.2%）、「縁故採用」製造業（24.6%）、非製造業（35.4%）と続いており、「自社HPへの掲載」では非製造業が製造業を10ポイント以上上回り35.4%となっている。

図 人材確保のために利用する募集・採用ルート（産業別）（複数回答）



(2) 直近3年度における新卒及び中途採用者の定着状況

直近3年度における新卒及び中途採用者の定着状況をみると、京都府計では、1,259人（平均4.2人）が入職、379人（平均1.3人）が離職し、離職率は30.1%となっており、全国平均と比べると3.07ポイント低くなっている。

産業別にみると、製造業では、676人（平均3.8人）が入職、223人（平均1.3人）が離職し、離職率は32.99%と京都府計を2.89ポイント上回っている。一方、非製造業では、583人（平均4.8人）が入職、156人（平均1.3人）が離職し、離職率は26.76%と京都府計を3.34ポイント下回っている。離職率では「機械器具製造業」が43.02%と最も高く、「その他製造業」36.76%、「対個人サービス業」36.36%と続く。

規模別にみると、離職率が最も高いのは、「30～99人」の事業所で34.34%となっており、最も低いのは、「100～300人」の25.06%となっている。

表 直近3年度における新卒及び中途採用者の定着状況

産業・規模別	入職者（人）		離職者（人）		離職率（%）
	入職者数	平均入職者数	離職者数	平均離職者数	
全 国	94,802	6.4	31,442	2.1	33.17
京都府計	1,259	4.2	379	1.3	30.10
製造業計	676	3.8	223	1.3	32.99
食料品	132	6.3	40	1.9	30.30
繊維工業	52	1.2	16	0.4	30.77
※木材・木製品	15	1.7	5	0.6	33.33
印刷・同関連業	50	3.9	14	1.1	28.00
※窯業・土石	18	2.0	4	0.4	22.22
化学工業	-	-	-	-	-
金属、同製品	254	5.8	82	1.9	32.28
機械器具	86	4.5	37	2.0	43.02
その他	68	3.4	25	1.3	36.76
非製造業計	583	4.8	156	1.3	26.76
※情報通信業	5	1.7	2	0.7	40.00
※運輸業	122	30.5	24	6.0	19.67
※総合工事業	11	3.7	5	1.7	45.45
職別工事業	60	2.4	14	0.6	23.33
設備工事業	46	3.8	15	1.3	32.61
卸売業	185	6.0	37	1.2	20.00
小売業	113	5.4	32	1.5	28.32
※対事業所サービス業	30	4.3	23	3.3	76.67
対個人サービス業	11	0.7	4	0.3	36.36
規模別					
1～9人	95	0.7	28	0.2	29.47
10～29人	298	3.2	94	1.0	31.54
30～99人	431	7.8	148	2.7	34.34
100～300人	435	31.1	109	7.8	25.06

（※「木材・木製品」「窯業・土石製品製造業」「情報通信業」「運輸業」「総合工事業」「対事業所サービス業」は母数10未満のため参考数値）

京都ビジネス交流フェア2025に京都府中小企業団体中央会は団体出展いたしました！

令和7年2月13日（木）・14日（金）に京都パルスプラザにて「京都ビジネス交流フェア2025」が開催された。京都府中小企業団体中央会エリアを設置し、計11団体（協同組合日新電機協力会、協同組合日新電機協力会青年経営研究会、京都府プラスチック協同組合、協同組合京都府金属プレス工業会、協同組合京都府金属プレス工業会次世代経営研究クラブ、京都府紙器段ボール箱工業組合、綾部鉄工工業協同組合、舞鶴工業集積協議会、久世工業団地協同組合、京都府中小企業団体中央会、京都伝統工芸協議会）が出展した。

京都ビジネス交流フェアはBtoBに特化した京都最大級の展示商談会として、今回で26回目を迎えた。中央会エリアに製造業関連組合が一堂に出展することにより、ものづくり製造業界としての高度な技術力や商品開発イノベーション力、生産性向上ツール等のPR機会を設けることで、需要開拓・販路拡大に向けたマッチング支援を実施している。

また、昨年度から学生の参加が始まり、本年度も継続して学生が来場した。ものづくり業界全体の課題である人手不足に対応するため、京都の製造業の強みを発信する貴重な機会となった。学生たちは各ブースに高い関心を示し、熱心に見学していた。その他、京都府の令和6年度補正予算に基づく「京都府生産性向上・人手不足対策事業費補助金」について、京都府中央会の支援内容を紹介した。具体的には、勉強会やワークショップ、モデル事業について説明し、これらの事業に取り組んだ組合や組合員企業の実例をパネルで展示した。また、各組合や企業が取り組んでいる生産性向上の具体的な方法をアピールした。

催事全体では、過去最大規模となる193社20団体が出展、参加者は5,800人（昨年度実績5,600人）が参加、前回は上回る規模での開催となった。本フェアの出展を通じて、出展団体や事業者の広報活動及び、販路拡大に繋げることができた。



西脇知事をはじめ京都府幹部による本会ブース視察



中央会エリアの様子

予告 京都府中小企業団体中央会 創立70周年記念式典

本会は、昭和30年に創立以来令和7年度で創立70周年を迎えます。来る6月20日（金）に創立70周年記念式典を開催する運びになりました。この輝かしい70周年を会員の皆様に多数ご出席を賜り、ご一緒に祝いたいと存じます。

また、創立70周年記念式典に先立ち、令和7年度通常総会も同日開催致しますので、是非ともご予定下さいませようお願い申し上げます。

日時	令和7年6月20日（金） 午後4時～8時（予定）
場所	ウェスティン都ホテル京都
内容	（第1部） 記念式典・記念表彰式 午後4時～4時50分 （第2部） 記念祝舞・演奏 午後5時～6時10分 （第3部） 記念祝賀会 午後6時10分～8時

お問合せ 京都府中小企業団体中央会 総務情報課 ☎075-708-3701

京都伝統工芸協議会 代表者会議、新年講演会・懇親会を開催

2月10日（月）、京都伝統工芸協議会は、ホテルモントレ京都において、代表者会議および新春講演会・懇親会を開催した。

代表者会議では、伝統工芸産業が持続的展開を図る上で解決すべき課題、必要な取組等を各会員団体代表者が発言した上で、府市行政の方々も交えた意見交換等を行った。

新春講演会では、株式会社大垣書店 代表取締役会長 大垣守弘氏を講師にお迎えし、「地域に必要とされる書店でありつづける」をテーマに講演いただいた。書店業界が厳しい中、地域に根付いたこれまでの歩みや、積極的な新規事業の展開等について、京都の伝統工芸に携わる事業者の方々にも大変参考となるお話をいただいた。

懇親会では、本会宮本研二副会長の乾杯あいさつで始まり、終始和やかな雰囲気の中で歓談交流が行われ、協議会谷川清三副会長の挨拶で盛会のうちに閉会した。



代表者会議



新春講演会

京都府中小企業女性中央会・京都府中小企業団体中央会 セミナー&MOCOカフェを開催

本会の女性部組織である京都府中小企業女性中央会（和田登美子 会長：本会理事・伏見大手筋(商振) あてらの会 会長）との共催により、2月4日（火）、京都経済センターにおいて、『セミナー&MOCOカフェ（組合女性部講習会）』を開催、約30名が参加した。

第1部のセミナーでは、株式会社フェイス・ジャパン 代表取締役の田和璃佳氏を講師に招き、「2025年から“腸活”でカラダとココロをととのえ、健康経営で成幸する」をテーマに講演を拝聴した。田和氏は、健康経営として企業が腸活を導入する目的等について、「腸活の目的は、腸内環境を整え、健康や美容、さらには心身のパフォーマンス向上、生活の質の向上である。これまで従業員の健康維持は個々で取り組むものとされていた。企業が経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や組織としての価値向上に繋がることから、健康経営に注目が集まっている。プレゼンティーイズムによる生産性の低下を防ぐため、健康経営の一つとして腸活に取り組む企業が増えてきている」と説かれた。また、企業の新たな事業展開の視点で、消費者の健康志向の高まりから、腸活を取り入れた新メニューや新商品の開発、腸活イベントの開催やサービスの拡充等、企業におけるリブランディングの事例について紹介された。



講師：株式会社フェイス・ジャパン
代表取締役 田和 璃佳 氏



第2部 MOCOカフェ

第2部のMOCOカフェでは、4グループに分かれ「健康経営・腸活」をテーマに、和やかな雰囲気の中で意見交換・懇談が行われ、健康維持・増進について探求を行うとともに、連携・交流を深める有意義な場となった。

京都府中小企業組合士協会 創立40周年記念講演会・祝賀会を開催

中小企業組合運営のエキスパートである中小企業組合士を主たる会員とし、本会が事務局を務める京都府中小企業組合士協会では、本年度に創立40年を迎えたことから、令和7年2月14日（金）にANAクラウンプラザホテル京都において記念講演会・祝賀会を開催し約30名が参加した。

二正寺敏夫会長の主催者挨拶に続いて、記念講演会では明治大学政治経済学部 専任教授の森下 正 氏を講師に招き、「中小企業の発展に資する組合の意義と役割～知的財産を生かす組合事業の創造～」をテーマにご講演をいただいた。

講演では、ポスト・コロナ後の新パラダイム、中小企業組合の発展に必要な視点、知的資産活用の勧めについて事例を交えて説明していただき、聴講者にとって非常に有意義な講演であった。

第二部の祝賀会では、京都府・京都市等のご来賓をお招きして開催、全国中小企業組合士協会連合会の川島豊副会長のご発声による乾杯の後、終始和やかな雰囲気の中、組合士相互の交流・親睦を深める有意義な場となった。



明治大学 森下正専任教授（講師）



記念講演会風景

組合事務のポイント①

～通常総会に向けた事務手続きについて～

3月末に年度末を迎える組合が多いことから、今号では年度末から通常総会開催に向けて主な事務手続き等について確認していきます。

○通常総会開催に向けた手続き

組合が作成した決算関係書類（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案または損失処理案）及び事業報告書（業務監査権限を付与した場合のみ）を、監事に提供し、監査報告を受けた後、理事会で承認、次いで通常総会での承認を得る必要があるため、「監査 → 理事会 → 通常総会」の順に手続きを進めることが求められます。

また、法令上では監査に最低でも4週間の期間（監事が自主的にこれ以前に監査報告を行うことを妨げるものではありません）を設ける必要があるため、年度末終了後に速やかに事業報告書および決算関係書類を作成する必要があります。

○事業年度末から通常総会終了後までの手順

①事業年度末(事業年度末決算処理)

- ・ 出資の変更登記【年度末から4週間以内】
- ・ 決算関係書類・事業報告書の作成
（定款に沿った剰余金処分案等を作成、施行規則に基づいた事業報告書を作成）
- ・ 決算関係書類・事業報告書を監事へ提出
※監事の権限が会計監査に限定されている場合には、事業報告書の監査は不要
- ・ 監査報告書の提出
- ・ 理事会の招集通知の発送【理事会の7日前までに】
（全員の同意があれば、招集手続きは省略可、定款の規定を変更すれば、期間の短縮可）

②理事会の開催

- ・ 通常総会に提出する議案の審議
- ・ 事業報告書、決算書、剰余金処分案、予算案の承認等
- ・ 通常総会開催日程の確定
- ・ 通常総会案内・招集通知の作成と発送準備
- ・ 通常通知には「開催日時」「場所」「議題」などを記載（「その他」等の緊急の内容を含む議案は望ましくない）
- ・ 決算関係書類・事業報告書を組合事務局に備置き【通常総会の2週間までに】
- ・ 組合員へ通常総会の案内を送付【10日前までに組合員へ到達】
※必要書類（決算関係書類、事業報告書、監査報告書 など）を添付

③通常総会の開催

- ・ 事業報告及び決算関係書類の承認、経費の賦課及び徴収方法の決定、事業計画・収支予算の決定、定款変更の決定、役員選挙（又は選任）、その他定款で定める事項等の承認。

④通常総会終了後の手続き

- ・ 所管行政庁に決算関係書類等を提出【通常総会終了後2週間以内】
- ・ 所管行政庁に役員変更届を提出【理事・監事を変更した場合、就任日から2週間以内】
※役員の名氏又は住所に変更があった場合、変更日から2週間以内に提出
- ・ 代表理事変更登記【理事会にて、代表理事を変更した場合、変更日から2週間以内に登記 ※重任の場合においても登記は必要】
- ・ 所管行政庁に定款変更認可申請【定款変更を決議した場合、「速やか」に認可の申請をする】
- ・ 定款変更の内容が登記事項である場合、法務局に定款変更に伴う登記申請【定款変更認可書の到達日から2週間以内】

⑤税務申告（事業年度終了後から2か月以内）

《組合事務等についてご不明な点がございましたら、以下までお問合せ下さい》

京都府中小企業団体中央会

本部事務所

☎ 075-708-3701

北部事務所

☎ 0773-76-0759

京都経済お天気

中小企業団体情報連絡員1月分報告より【前年同月比】

■燃料費等の高騰により、幅広い業界が圧迫

業界景況天気図		概況	
全体	12月 → 1月 ☀️ ☔️	1月は燃料・原材料価格の上昇や人手不足、個人消費の低迷が幅広い業界を圧迫した。ガソリン補助金の縮小もコスト増加を招いており、年末年始の連休明けで需要が落ち着いた国内旅行も悪化している。さらに、日本銀行による政策金利の引き上げなども下押し要因となった。今後は実質賃金の継続的な上昇と個人消費拡大の好循環への動きが焦点となる。	
製造業	繊維工業 ☔️ ☔️	諸物価が継続的に上昇し、諸産業で人手不足の課題が顕在化する中で、需要の減退により生産体制が弱体化し、更なる需要の減退という負のスパイラルから抜け出せない状況になっている。組合員共通の懸念は分業体制を担ってきた職人の高齢化や担い手不足であり、個別の事業所では解決が困難で生産を断念し、廃業を考えざるを得ないとの声も聞かれるようになった。	
	出版・印刷 ☔️ ☔️	先月は前年比で売上が落ち込んだとの回答が多かったが、年始からは回復傾向にある。ただ、トランプ政権の発足により大手を中心とした警戒感が中小へも波及すると不安視する声も聞かれる。原材料価格においては現在京都での動きはないが、周辺地域では値上げの動きがあり今後の波及を懸念する意見もあった。	
	12月 ☔️ ↓ 1月 ☔️	鉄鋼・金属 ☔️ ☔️	売上高は増加37%・不変45%・減少18%と増加の割合が増加した。しかし、雇用人数は増加1%・不変54%・減少45%と、昨年比で労働力の確保が難しい状況である。また、アメリカ大統領の交代と中国経済の失速で、2025年の我々を取り巻く環境は厳しい様子である。
	一般機械等 ☔️ ☔️	1月は年末年始の影響で企業の稼働日が少なく、必然的に売上高が減少する。組合員企業の景況もこの一年を通じて厳しい状況が続いている。ただし、業種によって状況は異なり、受注産業ごとの判断は難しい。また、発注企業によっても差が大きく、特に主要取引先の業績が大きな影響を及ぼしている。	
	その他製造業 ☔️ ☔️	昨年よりやや価格が下がっているが、今後値上がりに転じる模様である。物流費や人件費など経費部分の上昇が価格に反映された場合、さらに大幅な値上がりが見込まれる。ただ建築の着工数が伸び悩んでいるため、商品価格にどの程度反映されるか様子を見ている状態である。運送部分の費用の請求をできるようにチラシやポスターを作成し、組合員に配布する所もある。	
非製造業	卸売 ☔️ ☔️	今月の買受額は対前年同月比104%と増加したが、対前月比は63%と減少している。また、買受額は対前年同月を上回るも買受数量は減少している。kg単価は対前年同月比166円上昇し、対前月比11円の増と依然高値が続いている。売上減少や魚価高騰による利益率低下により資金繰りが逼迫しており、1組合員が廃業となる。	
	小売 ☔️ ☔️	年末年始は天候にも恵まれ、初売りは好調であった。昨年の春節は2月だったが、今年は1月であったため、昨年対比で売上好調な月となる。一方、欧米からの観光客は少ない様子であり、春節効果を除くと低調気味で、評価の難しい月となる。	
	12月 ☔️ ↓ 1月 ☔️	商店街 ☔️ ☔️	新たな年を迎えても引き続き、外国人観光客の訪問が多く、「錦市場はフードコートである」と表現されるなど、観光と食の関係性が注目されている。世界の観光都市で推進されるガストロノミーツーリズムは、その土地の気候風土が生んだ食材や食文化に触れる旅であり、観光客にとって食は文化体験の重要な要素である。その地域や地域にある食材・食品を改めて見直すことがこれから必要ではないだろうか。
	サービス ☔️ ☔️	年始以降も海外観光客が多く好調であったが、中国観光客の春節スタートまでは、然程伸びなかった。予約状況としては春節向けの予約は多く、昨年以上の集客が見込めそうである。依然として仕入原価や人件費は高騰したままであるため、収益性については各施設ごとの対応策で少しずつカバーしようと懸命な努力を感じる。	
	建設 ☔️ ☔️	新年になっても人手が足りない状況が続いている。また、建築費の高騰への対応として建物規模がやや小さくなっているが、予算上やむを得ない対応である。一方、平屋建てを選ぶ傾向も出てきたと言われるが、その理由は老後も暮らしやすい点である。地域密着型の工務店が成長するには、クレームへの迅速な対応など、今まで以上にフットワークの良さを大事にする必要がある。	
運輸 ☔️ ☔️	年末年始の休みが長かった所為か、地元顧客の動きは低迷し、タクシーの売上も前年比と比べると一様に減少した。会社の経費は高騰する諸物価の中でも、燃料費や車両部品等が予想以上に高騰している。京都府下におけるタクシー事業者のうち3分の2の事業者は利益が出ていない状況であり、これを解決するための運賃改定が必要になっている。		

☀️ 快晴 DI値 40以上	☁️ 晴れ 20~40未満	☁️ 曇り 20未満~△20未満	☔️ 小雨 △20~△40未満	☔️ 雨 △40以上
----------------	---------------	------------------	-----------------	------------

*DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

アイシーエル人材育成研修 定員 各20名

2025年 新入社員研修

少人数制! (各回20名) 実践的ロールプレイング!
10月頃開催のフォローアップ研修に無料ご招待!

中央会会員様
表示金額より
10%OFF

2日 **¥36,000** (税込)

※①②どちらか1日だけの受講も可能です。1日¥18,000(税込)

	1日目	2日目
①	4月7日(月)	4月8日(火)
②	4月9日(水)	4月10日(木)

中央会特別会員

ICL

株式会社アイシーエル

☎075-708-7253

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail training@icl-web.co.jp

〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680-1 第八長谷ビル 10F

詳細・お申し込みは Web サイトへ

アイシーエル 検索

営業時間9:00~17:30(土・日・祝日は休業)



人を思う。未来を思う。

商工中金

新型定期預金

マイハーベスト

有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭の手ラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

◆◆◆◆ 新加入会員紹介 (令和7年1月加入) ◆◆◆◆

※掲載につきましては、掲載のご承諾を頂いた会員及びその内容を掲載しております。

会 員 名 砥山礪石師事業協同組合

代 表 者 代表理事 中岡 友憲

設 立 日 令和6年10月15日

主 な 事 業 天然砥石（原材料含む）の共同生産・加工事業、共同受注事業、共同保管事業

令和7年

春の全国交通安全運動

実施要綱

運動の目的

広く府民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、府民による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

運動スローガン

『 事故ゼロで 笑顔の桜 満開に 』

実施期間

令和7年4月6日（日）～ 4月15日（火）までの10日間
交通事故死ゼロを目指す日 令和7年4月10日（木）

運動重点

- ◇ こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- ◇ 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- ◇ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底



京都府交通対策協議会

なが——い、おつきあい。

事業資金ニーズに応える豊富なメニュー

ビジネスパートナーをご紹介

資金調達

ビジネスマッチング

企業の資本政策・成長戦略をサポート

海外でのビジネスをサポート

事業承継・M&A

貿易・海外取引



京都銀行はさまざまな
シーンで皆様を応援します！

◀詳しくはこちらをご覧ください

飾らない銀行

京都銀行

月刊中小企業連携組織活性化情報 **協同**

3/2025 令和7年3月10日発行 通巻939号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階

☎ 075-708-3701 FAX 075-708-3725

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp